

平成28年1月5日

山中教授をはじめ、7名の応援大使
が出走します！！

京都マラソン実行委員会

担当：文化市民局市民スポーツ振興室

京都マラソン担当 TEL366-0314

「京都マラソン2016」出走応援大使の決定について

この度、「京都マラソン2016」（2月21日（日）開催予定）を盛り上げていただく応援大使の中から、過去最多となる7名の皆様が出走されることとなりましたので、お知らせします。

《京都マラソン2016応援大使出走者》

フルマラソン

- ◎ 山中 伸弥 さん（京都大学 iPS 細胞研究所所長・教授，京都市名誉市民）
- ◎ 原 邦夫 さん（スポーツドクター，なでしこジャパンチームドクター）

ペア駅伝

- 早狩 実紀 さん(1区)(京都光華 AC 所属陸上競技選手，MINORI RC 代表)*
- 桧山 進次郎さん(1区)(元阪神タイガース，野球・スポーツコメンテーター)*
- 山田 幸代 さん(2区)(プロ・ラクロス選手，京都産業大学出身)
- 島袋 勉 さん(2区)(両足義足のランナー)
- 森脇 健児 さん(2区)(タレント，洛南高校出身)

* 「京都スポーツの殿堂」入り

《What's New?》

- * 過去最高7名の応援大使が出走されます。
- * 京都マラソン2014から応援大使を務めていただいている桧山進次郎さんが、初めて出走します。
- * 初の応援大使同士・男女ペアとして、桧山進次郎さん（1区）と山田幸代さん（2区）がタスキをつなぎます。

また、新たに、今夏のリオデジャネイロオリンピック女子マラソン代表に内定された伊藤舞さんに京都マラソン2016応援大使に御就任いただきます。

NEW!



(伊藤 舞 さん)

1984年5月23日奈良県生まれ。京都橘高校時代から本格的に陸上競技を始め、京都産業大学、デンソーを経て、2009年に大塚製薬に入社し、現在に至る。2011年世界陸上大邱（テグ・韓国）、2015年世界陸上北京大会女子マラソン代表。2大会ぶりの代表となった北京大会では、前回大会（22位）の失敗を生かし、見事7位に入賞を果たした。日本陸上競技連盟が定める選考基準を満たし、今夏のリオデジャネイロオリンピック女子マラソン代表に内定。

【フルマラソン出走!】



(山中 伸弥 さん)

1962 年生まれ。1987 年に神戸大学医学部を卒業。国立大阪病院臨床研修医を経て、大阪市立大学院医学研究科を修了。米国グラッドストーン研究所、奈良先端科学技術大学院大学などで研究を続け、2006 年に世界で初めてマウス iPS 細胞作製成功を発表。続いて 2007 年にヒト iPS 細胞作製成功を発表した。2010 年 4 月に京都大学 iPS 細胞研究所長に就任し、2012 年 12 月ノーベル生理学・医学賞を受賞した。京都マラソン 2012 及び 2015 では、完走を目標として掲げ、iPS 細胞研究のための寄付を募った。2010 年京都市市民栄誉賞、2013 年京都市名誉市民。



(原 邦夫 さん)

1955 年京都市生まれ。1981 年京都府立医科大学を卒業。現在、京都鞍馬口医療センター整形外科部長、京都府立医科大学特任教授として勤務。フィギュアスケートの高橋大輔選手、女子マラソンの野口みずき選手、京都サンガ F.C. の選手などアスリートの治療を行うとともに、「なでしこジャパン」のチームドクターとして、ドイツ W 杯優勝、ロンドンオリンピック銀メダル、2015 カナダ W 杯準優勝など、選手を陰で支えている。自己ベスト：フル：2 時間 58 分 58 秒、ハーフ：1 時間 19 分 20 秒

【ペア駅伝出走!】

1 区出走



(早狩 実紀 さん)

1972 年 11 月 29 日京都市生まれ。宇治市立榎島中学校時代から陸上を始め、京都府立南八幡高校（現 京都八幡高校）、同志社大学を経て、現在は光華女子学園勤務、京都光華アスレティッククラブ所属。京都で行なわれる全国女子駅伝には、選手・監督として 27 回出場。トラックでは女子 3000m 障害の第一人者として、オリンピック・世界陸上などに出場。3000m 障害日本記録保持者。2014 年度「京都スポーツの殿堂」入り。2015 年、京都を中心に活動するランニングクラブ「MINORI RC」を発足。代表兼ヘッドコーチを務める。



(桧山 進次郎 さん)

初

1969 年 7 月 1 日生まれ。京都市出身。1991 年ドラフト 4 位で阪神タイガースに入団。2001 年から 3 年間選手会長に就任し、18 年ぶりのリーグ優勝へチームを導く。日本シリーズでも 4 番として出場し、優秀選手賞を受賞。2008 年頃から「代打の神様」と称されるようになり、2013 年 10 月クライマックスシリーズで放った代打 2 ランホームランを現役最後に、ファンに惜しまれながらも引退した。現在は野球解説者・スポーツコメンテーターとして活躍。2014 年度「京都スポーツの殿堂」入り。

【主な著書】『生え抜き タイガースから教わったこと』『代打の哲学』『待つ心、瞬間の力』【テレビ】「おはよう朝日です 木曜日」「教えて! ニュースライブ 正義のミカタ」「キャスト」【ラジオ】「サクサク土曜日 中邨雄二です」

2区出走



(山田 幸代 さん)

1982年滋賀県生まれ。京都産業大学入学後にラクロスを始め、2005年に日本代表としてW杯出場。2007年に日本人初のプロ選手となり、翌年からオーストラリアで活躍。2012年、世界選抜18人に選出。2014年、オーストラリアリーグシーズン最優秀選手。現在は京都産業大学創立50周年広報大使「むすびわざアンバサダー」を務めながら、同大学大学院マネジメント研究科に在学中。2017年ラクロスW杯にオーストラリア代表として出場し、金メダルを獲得することを目指している。



(島袋 勉 さん)

1963年沖縄県那覇市生まれ。2001年アメリカのIT事業視察の帰り、千葉県にて踏切事故により両下腿切断。高次脳機能障害（記憶障害）を負う。2004年11月両足義足でトリムマラソン3キロに初挑戦。2004年12月ホノルルマラソンへ初挑戦。それからバンクーバー、ゴールドコースト、NYシティ、ロンドンマラソン等各地マラソンに出場。「あきらめない習慣」を身に着けるため、マラソン、自転車、登山を続けている。
【主な著書】「義足のランナー」（文芸社）「夢をあきらめない」（ごま書房新社）



(森脇 健児 さん)

日本全国を飛び回り、テレビ・ラジオに幅広く活躍。中学・高校と陸上部に所属・100m11秒02を記録し、インターハイにも出場している。最近では「森脇健児陸上競技部」を発足し、春・秋のTBS「オールスター感謝祭」のミニマラソンにおいてはハンデがありながらも常に上位の成績を収める。ベストタイムは、10キロ：38分28秒、ハーフマラソン：1時間27分03秒、フルマラソン：4時間11分

【参考】京都マラソン2016応援大使（13名）

山中 伸弥さん（京都大学iPS細胞研究所所長・教授）

森脇 健児さん（タレント，洛南高校出身）

千葉 真子さん（スポーツコメンテーター）

島袋 勉さん（両足義足のランナー）

朝原 宣治さん（大阪ガス陸上部コーチ）

奥野 史子さん（スポーツコメンテーター，京都市教育委員）

谷口 キヨコさん（DJ・タレント）

原 邦夫さん（スポーツドクター）

早狩 実紀さん（京都光華AC所属陸上競技選手）

本田 望結さん（子役・タレント）

桧山 進次郎さん（元阪神タイガース，野球・スポーツコメンテーター）

山田 幸代さん（プロ・ラクロス選手，京都産業大学出身）

伊藤 舞さん（リオデジャネイロ・オリンピック代表内定）【新規】